

令和4年度 高田中学校 学校評価アンケートについて

12月に実施された「学校評価アンケート」につきまして、ご協力いただき誠にありがとうございました。その結果をご報告させていただきます。アンケート結果については1「そう思う」+2「だいたいそう思う」のプラス評価が7割を超えたものについてはおおむね達成したものととらえ、また、3「あまりそう思わない」+4「そう思わない」が2割を超えたものを特に課題のある面ととらえました。

- 併設型小中学校の取組の一環として、今年度も高田中ブロック（高田中・高田小・高田東小）で共通の質問項目を設け、学校評価を実施しました。そのうち、今年度は設問2「協力する素晴らしさを感じている」については、肯定的な回答の割合が、生徒・教職員でどちらも9割を超え、保護者では9割には届かなかったものの、86.5%と高いものでした。経年で比較すると、昨年度に引き続き8割以上となっており、本校の教育活動が引き続き成果を上げていることがうかがえます。

一方設問3「小中連携」については、昨年度より保護者についてはプラス回答の割合が増えているものの、依然生徒・保護者ともに肯定的な回答の割合が低くなっています。今年度においては児童生徒交流日に小学生の授業見学や部活動見学を行いました。感染症対策で全体として交流が減ってしまっている影響が出ていると思います。

また設問1「進んで学ぶ姿勢」については、昨年度は生徒・保護者ともにプラス回答の割合が増えていましたが、今年度は生徒・保護者ともにマイナスの回答の割合が微増しています。コロナ禍における様々な活動の制限の中、昨年度はオンラインやICTを活用した授業の導入などを通じた在宅における学習の取組の充実が見られましたが、今年度は全体としてのオンライン授業の機会が減ったことや、昨年度からの継続による慣れが考えられます。今後の教育活動のさらなる充実を心がけていきたいと思っています。

- 設問4「生き生きと学校生活を送っていますか」、設問5「生命を尊重し、心身の健康維持、向上に努めていますか」、設問8「相手を思いやる気持ちが高まっていますか」についても、生徒・保護者・教職員ともに昨年度に引き続きプラス回答8割を超えており、人権・道徳の指導の成果が現れていると思います。

- 設問9「進路指導」については、今年度の保護者のプラス回答が昨年度に引き続き7割をわずかに下回っています。コロナ禍の活動等の制限も考えられますが、今後はより緊密で丁寧な指導を心がけていきたいと思ひます。
- 設問10「学校の決まりを守っていますか」の回答は、今年度昨年度に引き続きも生徒・保護者・教職員ともにプラス回答が9割を超えるという結果になりました。日々の職員・生徒・家庭の連携を今後とも継続していけるようにしていきたいと思ひます。
- 設問14「分かりやすい授業」、設問17「地域とよく連携していますか」について、今年度も保護者のプラス回答の割合が昨年度と同様に6割前後と低いものでした。設問14については分かりやすい授業展開をさらに心がけるとともに、今年度は土曜学校における授業参観のみでしたが、来年度は授業公開をさらに増やして授業のようすを見ていただく機会を増やしていきたいと思ひます。設問17についてはコロナ禍による活動の制限が影響していると考えられます。今後に向けた活動の改善に取り組んでいきたいと思ひます。
- 設問15「行事の充実」については、生徒・保護者ともに昨年度に引き続き回答が8割を超えており、コロナ禍での活動等の制限もあるものの、多くの生徒・保護者に満足していただけたことは良かったと思ひます。
- 設問18「ICTを活用した学び」については、昨年度は保護者のプラス回答が7割を超えていましたが、今年度は再び7割を切っています。前述の通り全体としてのオンライン授業の機会が減ったことや、昨年度からの継続による慣れが考えられます。学校全体での更なる取組の改善を心がけていきます。
- 設問19「高田中ではコロナ禍において安心して学べるための工夫をしていますか。」について、今年度は生徒のプラス回答の割合が昨年度に引き続き8割以上になりました。最近ではコロナをめぐる対応が変化しつつありますが、今後とも多くの生徒にとって、学校が安心して生き生きと活動できる場所であるように、教職員一同頑張っていきたいと思ひます。